

鋼材試験の試験片必要長さ

平成21年11月1日

単位：cm

呼び名	生材（継手なし）		継手あり		
	引張	曲げ	圧接・溶接	機械継手	
D10	40	20	40	継手部分 の長さとは 別に右記の 長さを加え た長さ	35
D13	45	20	45		35
D16	45	20	50		35
D19	50	24	55		40
D22	50	29	55		40
D25	50	29	50		40
D29	55	31	50		40
D32	55	33	50		45
D35	60	36	55		45
D38	60	40	55		45
D41	65	40	60		45

注意事項【必ずお読み下さい】

- ・ 引張試験片は上表の長さ以上、曲げ試験片は上表の長さ±1cm程度に切断したものを持ち込み願います。
- ・ 引張試験片（生材・継手なし）は試験片の中にロールマークを入れないようにしてください。
- ・ 圧接，溶接，機械継手は継手が試験片の中心となるようにして下さい。
- ・ 重ね溶接（フレア溶接等）されたものについては，溶接継手前後の鉄筋の軸が一致しているものに限り，試験を行います。
- ・ 継手を有する試験片及び規格がSD390以上の生材（継手なし）試験片については，曲げ試験を行うことができません。

機械継手の試験片必要長さの考え方

